

むこう三軒、両隣

月めくりのカレンダーも残り二枚となってしまい、何となく、寂しい気持ちですね。

先月は北朝鮮も成りを潜め、国内では衆院選で話題が沢山の状態でした。今月はトランプ大統領も来日します。これまで以上ににぎやかな一ヶ月になるようですね。

安倍一強政治の評価を問う総選挙は、結果的には再び同様の体制になったようです。多くの国民に“これで良いのだ”とか、“他の人達に任せるよりは”、という消極的な選択肢が強く作用したのかも知れません。民族特有の控えめな意思表示の結果なのでしょう。攻める側の作戦不足と、曖昧さが今回も表に出てきたとも言えますね。日々暮らしていく国民の諦めになってしまうのは、危険すぎます。次回の選挙では、もう少しうまくやろうとの気持ちでがんばらねばと、反省と再起への祈念とで・・・、このあと何年後でしょうか？



実りの秋のはずが、天候不順の影響や海流の蛇行などで、作物も魚類もなんか少ない気がします。妻が新米と生いくらを使って作る“はらこめし”も今年は駄目かなと覚悟して居ります。マツタケも余りでいてませんね。北朝鮮からの渡来物が無いからなのでしょうかね？



少子高齢化の時が進むにつれて、独居・老々世帯・認々世帯が多くなり、早急に解決しなければならない問題が多くなっております。二人世帯は、一方が具合悪くなったときに残った方が援助要請の手を打てるか否かが、その後を決定付けます。普通に考えると、多くの人たちはそれなりの安全弁が有るからと思いがちですが、そうではないのが現実です。かろうじて良い偶然が重なり、助かることも有りますが、悪くすると残された方もトラブルに巻き込まれる一歩手前との事にも為ります。昔のように風通しの良い隣近所付き合いであれば、問題は少ないのですが、個人の尊厳を大切に現代ではそうは為らないのでしょう。

“むこう三軒、両隣”仲良く手を携えて、楽しく安心・安全な老後を過ごしましょう。